

## ナミアゲハ（別名 アゲハ）

春から秋にサンショウなどミカン科樹木の葉を食い荒らすイモムシ（幼虫）。最大長約50mm。小さなときは小鳥の糞に似た色彩。成長すると緑色になる。

庭のサンショウでしばしば多発し、木を丸坊主にすることがある。



1. 中齢幼虫，体長20mm. 2001/8/13.

美唄市，庭のサンショウ。



2. 老齢幼虫，体長25mm. 2001/8/15.

1と同じ個体群から。

【学名】 *Papilio xuthus*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , アゲハチョウ科 (Papilionidae)

### 【生態】

年数世代。蛹越冬。雌成虫は若葉などに産卵する。卵は丸く黄色。幼虫は枝先の若い葉を好んで食べる。北海道では夏以降に発生が多いようである。

### 【被害と防除】

庭にサンショウを植えれば毎年のように発生する。木を枯らすことはないが、成長が衰えることがある。

幼虫はたいてい葉表におり、目に付きやすい。小鳥の糞のようなものが付いていたら、幼虫なので取り除く。触るといやな臭いが付くため、気になる人はゴム手袋をすること。チョウの好きな人は少し残しておく。

### 【文献】

1986. 村岡実. アゲハ. 山口昭, 大竹昭郎, 編集, 果樹の病害虫, 診断と防除: 161-163. 全国農村教育協会, 東京. (柑橘での生態, 被害, 防除)

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/10/6.

1yochu1.jpg, 1yochu2.jpg

「写真 1～2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001.